

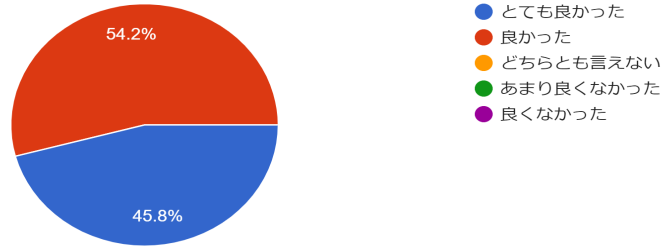
令和5年度第2回事例検討会アンケート結果(令和5年7月13日開催)

テーマ:『心不全をもつ独居高齢者の支援』

参加者45名(会場参加24名/ZOOM参加17名/相談室4名) アンケート回収率53%

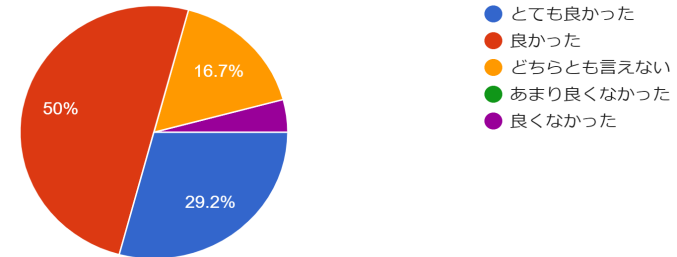
1. 事例検討会のテーマについて

24件の回答



3. 検討方法(グループワーク)について

24件の回答

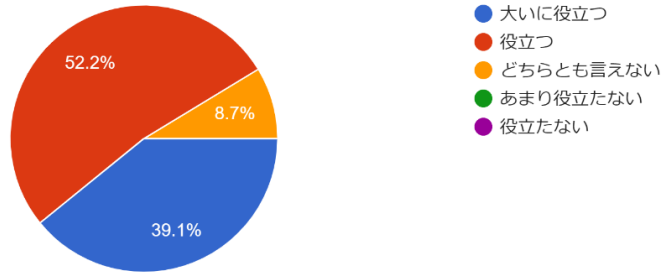


今回の事例検討会のテーマや検討方法についてご意見をお聞かせください。

(回答より主なものを抜粋)

- ◆ 独居高齢者の支援は今後増えると思います。
- ◆ 利用者に寄り添って大勢でかかわってきたことが、よくわかる事例でした。支援してきたことが、よくわかった。
- ◆ 各職種が何を根拠に調整時に考えているかがわかり有意義でした
- ◆ 心不全・独居という支援の難しいケースを共有し他職種でそれぞれの立場から意見交換できたこと、貴重な時間でした。
- ◆ 実際に担当者された方々からお話を伺えて良い経験になった。生活や福祉の情報を事前に頂けると更に良かったです。
- ◆ それぞれの専門性を生かし連携を図ることで在宅で重症の心不全コントロールできることが知れて良かったです。
- ◆ グループの関係者に質疑時間の方が長く、検討できたかという疑問。
- ◆ ZOOMでの参加でしたがとてもスムーズでした。会場発表者(事例提供者、総評など)の表情や様子が見えず、また誰が参加しているのか分からず残念。発表者用ZOOMカメラ?があると嬉しいです。
- ◆ いつもはケアマネだけの中で研修を行うが、色々な立場の方とグループワークができとても貴重な研修でした。
- ◆ グループにケースの事情を把握している人がおらず、会場と温度差が大きかった
- ◆ 多職種によるGPが良かった。特にDRの意見が聞けて良かった。

5. この事例検討会は、日頃の業務に役立つ内容でしたか。
23件の回答

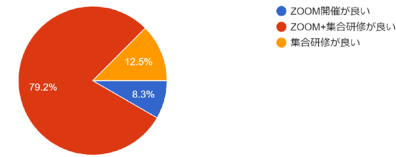


今回の事例検討会は日頃の業務に役立つ内容でしたか？

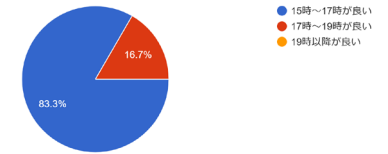
ご意見をお聞かせください。(回答より主なものを抜粋)

- ◆ BNPの数値しか見てこなかったが他にも心不全兆候のデータがあると知った。
- ◆ タイムリーな情報の共有の大切さを認識した
- ◆ これからIT機器を利用した在宅診療が増えるだろうから知識として得られてよかった。
- ◆ この先どう運ぶのか、支援方針が見えにくいケースを担当する時に、事例の支援者達の情報共有やご判断は、参考になります。
- ◆ 事例を振り返り検討することはとても有意義であると思います。他の事例を元に自分のケースを振り返ることもあります。皆で同じ方向を向いて支援することは当たり前ですが多職種により観点の違いや考え方の違いを聞くことは勉強になります。
- ◆ 今後の看護サマリーの内容を見直すきっかけとなったと思う
- ◆ 薬局の方との連携や、日々事業所さんとの関係がとても大事だと改めて感じた。
- ◆ 疑問に感じていることが解決しなかったのが残念でした
- ◆ 病院で循環器の退院調整をしており、今後の参考になりました。

8. 今後の研修会の方法について
24件の回答



10. 開催時間について
24件の回答



開催方法・開催時間についての回答の理由をご記入ください。

(回答より主なものを抜粋)

- ◆ 基本は会場参加で業務の都合でオンライン研修も選ぶことが出来れば研修参加の選択肢が広がるので
- ◆ どちらもメリットデメリットあり、選択できる方が参加しやすいと思います。
- ◆ また担当ケースでお会いするとき等、直接お会いしての方がスムーズに連携がとれる。

今後の事例検討会、研修で取り上げてほしいテーマがありましたら、ご記入ください。(回答より主なものを抜粋)

- ◆ 精神疾患のある利用者のケース
- ◆ ICについて
- ◆ 癌末期の方のお看取りのケース
- ◆ 精神疾患の家族の方がいる、利用者さんの支援
- ◆ 若年の方の進行性の難病(以前取りあげてくださっていると思いますが再度。)
- ◆ 病院から在宅に退院する際の困難事例

皆様ご協力ありがとうございました。